

第3回 いの町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：平成 21 年 9 月 2 日（水） 10:00～12:00

場 所：いの町立伊野公民館 2階大集会室

1. 議事次第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

(1)報告事項

第1号 いの町地域公共交通総合連携計画策定業務の委託事業者の決定について

(2)協議事項

第1号 地域公共交通総合連携計画策定について

第2号 住民ニーズ調査の実施計画について

4. 意見交換

5. その他

6. 閉会

2. 出席者

別紙 出欠確認表 参照

3. 議題

(1)報告事項

第1号 いの町地域公共交通総合連携計画策定業務の委託事業者の決定について

(事務局)

- ・6月15日にホームページにより実施要領を交付し、委託事業者の募集を行った。協議会で事業者の審査を行い、A社に決定した。

(2)協議事項

第1号 地域公共交通総合連携計画策定について

第2号 住民ニーズ調査の実施計画について

(事務局)

- ・事務局より、業務計画書（資料1）、住民ニーズ調査計画書（資料2）の説明を行った。

4. 意見交換

(議長)

- ・伊野地区の中山間地域は行政区数35となっているがもれはないか。

(事務局)

- ・市街化区域をはずした地域が35である。市街化区域はアンケート調査ではなく、高知県が実施したパーソントリップ調査のデータを使用する。

(議長)

- ・次回の協議会は調査内容に関する議論であるが、12月の協議会では様々な調査結果も出てきており、連携計画の具体的な内容となるため、しっかりと議論すべき協議会となる。

(委員)

- ・アンケート調査で人口を対象にすると本川地区にはアンケートが少なくなる。面積を踏まえて規模を決めてほしい。
- ・バスに乗るところまでの距離が遠いことが問題であるので、計画にはそこを踏まえてほしい。
- ・ヒアリング調査は地区の代表者を1箇所に集めて行うのか。

(事務局)

- ・本協議会でヒアリング調査を行うことが了承されれば、具体的な開催方法については、各地区と調整を行い決定する。

(委員)

- ・以前、本川地区では住民にヒアリング調査を行った経緯がある。地域応援団ということで調査を行っており、その調査時点からどのように変わってきているかを踏まえて検討を進めて欲しい。高齢化の波が押し寄せてきており、車にも乗れない人が増えてきている。

(事務局)

- ・地区の人口を対象にして調査部数を算出すると、本川地区で約 500 部配布することになる。世帯数 331 世帯に 500 部配布されるため、全世帯に配布できる。また、ヒアリング調査も行うことから、地域の意見を十分聞くことができる。

(本川支所)

- ・平成 17 年にヒアリング調査を行っている。住民ニーズを把握した調査である。その中で、移動に関することを中心にワークショップを開催した。
- ・利用者や公共交通運転手に対して、アンケート調査も行っている。
- ・これらの意見を踏まえて、バス便の変更などを行ってきた経緯がある。
- ・調査データは提供できるので本計画の参考として欲しい。
- ・バス停から自宅までの移動は、本川地区の大きな課題となっている。本川地区にはタクシーがなく、朝と夜のバス便しかない状況である。
- ・ヒアリング対象者として NPO をあげ、将来の公共交通事業者の担い手として期待されていると思うが、コミバス等の運営には向かない。過疎地での有償タクシーを想定しているのであれば、社会福祉協議会等も含めて検討してはどうか。

(委員)

- ・調査の視点として、中山間地域の住民の移動実態の把握と高齢者等の移動の確保ということが書かれているが、本計画の目的もこれでよいのか。〔その通りであると事務局回答〕

(議長)

- ・モビリティ、アクセス、イグレスなど横文字は使いたくない。自治会長なども見るので日本語でお願いしたい。

(事務局)

- ・横文字は極力使用しないように心がける。
- ・モビリティとは移動ということである。
- ・アクセス、イグレスは交通の動きを示す言葉で、例えば、自宅から駅に向かうことをアクセス、目的地側で駅から会社に行くことをイグレスという。

(委員)

- ・バスを買い換えるということであるが、どのようなバスを購入するのか。高齢者や子供が多いので低床式がいいが、金額が高くなる。その増加分に対し、国や県から補助がでないのか。

(事務局)

- ・現在は外国製の車いす対応のバスを使用しているが、故障すると部品が手に入りにくい。また、車検が通常の 2 倍かかる。同じ形式の日本製があるが、車両が 1,700 万円であり高い。どのようなバスにするかは現在検討中であるが、色は今のバスと同じように塗装する予定である。
- ・手押し車の乗せるスペースがなく、バスに積みにくいことは理解しており、工夫したい。

(委員)

- ・本川地区はいの町の半分の面積を占める。面積が広い中に、645 人がすんでおり、住民の住所のことを計画作成に配慮して頂きたい。自宅からバス停までの距離が 4~5 km あることも多い。

(委員)

- ・アンケート調査において回収率が 50% となっているがこれぐらいの率になるのか。

(事務局)

- ・回収率は自治会長を通じて配布回収を行うので、80% 程度を想定している。低めに想定しているが、実際には必要サンプル数が確保されれば、統計上は問題ない。

(議長)

- ・2 つの計画書は承認してもよいか。
- ・反対がないようですので、地域の実態を踏まえた内容にするということで、2 つの計画書を承認します。

以上

第2回いの町地域公共交通活性化協議会 会議結果

- 1 開催年月日 平成 21 年 9 月 2 日(水)午前 10 時
- 2 開催場所 いの町 3 5 9 7
伊野公民館 2階大集会室
- 3 出席委員 16名(別紙のとおり)
- 4 欠席委員 6名(別紙のとおり)
- 5 会議結果

議 題	結 果	備 考
第1号 地域公共交通総合連携計画策定について	原案可決	
第2号 住民ニーズ調査の実施計画について	原案可決	

- 6 その他
本川地区 嶺北観光自動車バス運行の一部変更について
協議結果
いの町地域公共交通会議として承認

別紙

出席委員

いの町地域公共交通活性化協議会 委員

出席委員

No.	区 分	氏 名	代理等	代理出席者氏名
1	いの町長	塩 田 始	本人	
3	一般乗合旅客自動車運送業者 軌道事業者	明 神 二 郎	代理	大黒 崇
4	一般乗合旅客自動車運送業者	長 野 文 男	本人	
5	一般乗合旅客自動車運送業者	稲 毛 稔 憲	本人	
6	一般乗合旅客自動車運送業者	藤 田 光 三	本人	
7	一般貸切旅客自動車運送業者	中 村 好	本人	
8	一般乗用旅客自動車運送業者	明 神 勲 生	本人	
10	住民・利用者代表者	宮 上 知 史	本人	
11	住民・利用者代表者	松 本 和 美	本人	
12	住民・利用者代表者	山 中 淳	本人	
13	国土交通省 四国運輸局高知運輸支局	谷 本 輝 重	本人	
14	高知県公共交通課	樋 口 毅 彦	代理	宗光 広展
17	中央西土木事務所	長谷部 和 英	代理	小川 洋二郎
18	学識経験者	長 尾 謙 一 郎	本人	
19	学識経験者	若 林 正 直	本人	
21	鉄道事業者	岡 田 幸 士	本人	

欠席委員

2	一般乗合旅客自動車運送業者	大 崎 正 人		
9	一般乗用旅客自動車運送業者	大 原 正 宏		
15	高知県地域づくり支援課	前 田 和 彦		
16	高知県警いの警察署	奥 田 貴 之 助		
20	学識経験者	高 橋 建 依		
22	国土交通省 四国地方整備局土佐国道事務所	中 川 敏 正		